

2012年度事業報告  
(2012年4月1日～2013年3月31日)

1. 啓発事業

(WHO 憲章精神の普及及び健康に関するセミナー等の開催並びに機関誌広報等の啓発事業)

① ウェブサイトの拡充とメールマガジン発信

ホームページにおいて、組織基本情報、WHO 憲章や組織に関する情報、機関誌内容等を公開、適宜更新するとともに、WHO から発信される情報の紹介や WHO 神戸センターのイベント情報等を逐次掲載し、健康啓発情報についての広報発信を行った。また、メールマガジンについても継続発刊 (26号～48号の配信) し、タイムリーな健康啓発情報の発信を行った。

② セミナーの開催

WHO への理解を深め、健康への関心を高めて頂く目的で次のとおりセミナーを開催した。

2012年5月31日(木) 第2回禁煙セミナー「たばこ規制 世界と日本」

「たばこ対策 日本と世界の動向」

講師：WHO 健康開発総合研究センター所長 アレックス・ロス氏

「我が国のたばこ規制の現状と課題」

講師：日本 WHO 協会 理事 大島 明氏

2012年6月8日(金) 東成アートフェスタ 2012 講演

「美しく老いるために」

講師：日本 WHO 協会 理事長 関 淳一氏

2012年7月21日(土) 第16回関西感染症セミナー(共催)

「薬剤耐性菌のアウトブレイクを未然に防ぐための環境管理と接触予防策」

座長：大阪大学医学部保健学科教授 牧本清子氏

講師：福岡大学病院 感染管理認定看護師 橋本丈代氏

「これは効く！手指衛生を良くする3つの方法」

座長：大阪労災病院 外科副部長 清水潤三氏

講師：順天堂大学附属順天堂医院感染対策室長 堀 賢氏

「2012年は麻疹排除目標年一現状と今後の展開」

座長：京都薬科大学 教授・副学長 後藤直正氏

講師：国立感染症研究所 第三室室長 多屋馨子氏  
「アメリカ CDC の感染対策ガイドラインをどう活かす」  
座長：京都大学医学部附属病院 部長 一山 智氏  
講師：山形大学医学部附属病院 部長病院教授 森兼啓太氏

2012年9月23日（土）人的貢献推進セミナー（共催）

「国際保健医療×地域保健医療」  
日本の地域医療から世界の国際保健のフィールドでの生き方を考える  
「国際保健医療と地域保健医療」  
講師：TICO 代表理事 吉田 修氏  
「ケーススタディから地域の取組みを考える」  
講師：元兵庫県立大学地域ケア開発研究所教授 森口育子氏  
「CBR の視点から見た地域の取組み」  
講師：ベトナムの子ども達を支援する会事務局長 坂東あけみ氏

2013年2月27日（水）フォーラム「歯と健康Ⅱ アクティブエイジングのために」

「今、何故歯と健康か」  
講師：日本 WHO 協会 理事長 関 淳一氏  
「口と全身の密接な関係」  
講師：東京医科歯科大学 教授 和泉雄一氏  
「口腔ケア・口腔リハビリは高齢者の命を救う」  
講師：米山クリニック 院長  
日本歯科大学 臨床教授 米山武義氏  
「実践 口腔のセルフケア」 パネルディスカッション

③ 機関誌の発行

「目で見ると WHO」誌を次のとおり継続発行し、より啓発効果を高めるため、会員やイベント参加者等関係先への配布のほか、国立国会図書館をはじめ都道府県立図書館等へ送付した。

第 49 号 特集「歯と健康」 2012年7月

第 50 号 特集「国際保健医療と地域保健医療」 2012年11月

第 51 号 特集「高齢化と健康」 2013年3月

なお、51号について、校正等の事情で印刷、配布は4月となった。

④ その他啓発事業

事務局に対しては日常的にメールや電話による WHO 関連情報に関する問い合わせ

せがあり、協会の立場を明確にしつつ WHO ウェブサイト検索方法の指導等による啓発を行った。

## 2. 研究事業

(健康に関する調査研究の受託・斡旋・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業)

- ① 口腔保健啓発のニーズと手法に関する研究」を受託し、研究報告をまとめるとともに、その成果としての提言をフォーラム「歯と健康Ⅱ」に反映させた。

## 3. 連携事業

(国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業)

- ① 大阪市立大学のシンポジウム「たばこの身体への影響を考える」健康教育支援事業、(財)日本国際連合協会の国際連合公用英語検定試験事業、大阪糖尿病協会の「世界糖尿病デーおおさか 2012」事業について後援名義使用を許諾し、事業に協力した。
- ② 国際保健医療学会学生部会との協力により、2012年9月23日人的貢献推進のための人材開発セミナー事業「国際保健医療×地域保健医療」を共同開催した。
- ③ ストップ結核パートナーシップ理事への就任を通じて、啓発広報の協力等の協力関係を構築した。

## 4. 支援事業

(WHO の事業目的達成に寄与するための募金活動及び募金収益の拠出並びに活動協力等の支援事業)

- ① エイズ撲滅を進める目的で募金活動をセミナー等の機会を活用して継続実施し、集まった金額に事業費を加え、エイズ撲滅基金への拠出支援を行った。

## 5. 人材開発事業

(国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業)

- ① 日本から WHO をはじめ国際保健衛生分野で活躍する人材を増やす人的貢献の推進をかね、国際保健医療学会学生部会とともにフォーラム「国際保健医療×地域保健医療」を開催した。
- ② WHO 西太平洋地域事務局インターンシップでの昨年度支援対象者より報告を受け、機関誌に報告記事を掲載した。
- ③ WHO 神戸センターより、WKC インターンシップ制度の紹介記事の寄稿を受け、機関誌に掲載した。

## 6. その他事業

(その他本協会の目的達成に必要な事業)

### ① WHO、WKC 及びその関係者との交流を深めた。

WHO 神戸センターのロス所長に 2012 年 5 月 31 日第 2 回禁煙セミナー「たばこ規制 世界と日本」の講師として講演頂くのみならず、セミナーに先立ち理事との懇談会を開催して今後の協力について話し合う機会を持ったのをはじめとして、WKC イベント等の告知広報の協力、WKC フォーラム等への参加や情報交換による交流を行った。